

民主青年新聞

●ホームページ www.dylj.or.jp ●Eメール minsin@dylj.or.jp

見どころ

第46回全国大会決議案

(4～8面)

世界で相次ぐ大災害—気候危機の打開を緊急に (10、11面)

憲法生かした政治の実現を



▶若者憲法集実行委員会主催で行われた「憲法変えるな憲法生かせ若者憲法デモ」では、200人の青年が声を合わせて、「青年の命と暮らしを守れ」とうたった(2日、新宿)

若者憲法集実行委員会は、来年6月に「若者憲法集2023」を開催することを発表しました。岸田政権は、ロシアのウクライナ侵略などを口実に、改憲策動や大軍拡を進めようとしています。同時に、岸田政権は新自由主義的な政治を推し進め、青年の窮状に背を向け続けています。青年の命と暮らしを守るとりくみが求められる今、憲法を守り生かすため全国各地で実行委員会を立ち上げ奮闘する青年を取材しました。(文中は一部仮名、太田良真記者)

草の根で広がる「全国青年憲法運動」

各地で実行委員会が 続々結成

若者憲法集の成功は、政治を求める運動です。青年が岸田政権による改憲に反対であり、憲法を生かした政治を求めていることを大きくアピールするものです。集会開催と同時に呼びかけられた運動が、「憲法変えずに憲法生かせ!」

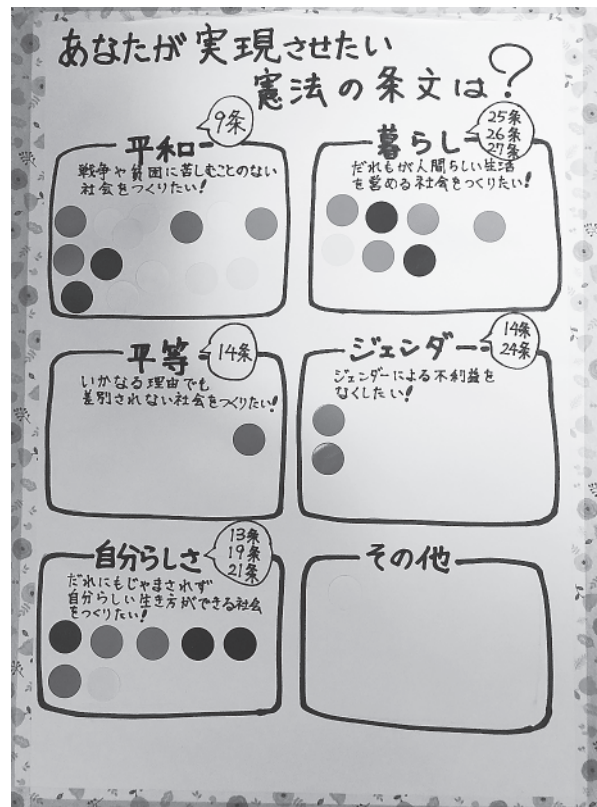
9月9日、北海道で大規模な野幌実行委員会が結成された。野幌実行委員会が結成されたのは、大規模な野幌地域班の橋本友香さん(27)は「全国青年憲法運動」は自分たちで行うべきだと、各地域・職場・学園で実行委員会をつくり、アピールを確認すること、アピールでは、「自民党政権による改憲反対」「現行憲法を生かして、青年の命と暮らしを守る」と、各地方の青年が声を合わせて、「青年の命と暮らしを守れ」とうたった(2日、新宿)

北海道・手稲区実行委員会では、駅前での宣伝に9月11日からこれまで3回と、18人の賛同を呼びました。「日本国憲法が大好きで、憲法が大事だと思おう仲間を増やしたい」と、貧困に苦しむことのない社会を築きたいと、三浦さんは話しました。

対話が励みになった

「憲法が大事だと思ってくれる人がこんなにいるんだと知れたのがうれしい。今後も学習会を開くなどして、『自分も憲法を守るためにがんばろう』と思ってくれる仲間を増やしたい」と三浦さんは話しました。

北海道・手稲区実行委員会では、駅前での宣伝に9月11日からこれまで3回と、18人の賛同を呼びました。「日本国憲法が大好きで、憲法が大事だと思おう仲間を増やしたい」と、貧困に苦しむことのない社会を築きたいと、三浦さんは話しました。



▲三浦さんが街頭宣伝で使ったシールボード。初めは「憲法のことはいくつか知らない」と言う青年も、条文を説明しながら対話すると「戦争が早く終わってほしい」などの思いを語った(写真は三浦さん提供)